

日本カント協会第47回大会一般研究発表募集

2022年11月12日(土)に東北大学で開催される第47回大会における一般研究発表(口頭発表)を以下のように募集いたしますので、ご応募ください。なお、COVID-19の感染状況によって、開催方法がオンラインに変更になる可能性があります。開催方法は6月に決定し、本協会のホームページで発表いたします。

発表時間：質疑応答を含め50分(発表30～35分・質疑20～15分)。

発表者数：10名程度。

応募資格：本会会員。

応募内容：発表テーマ(欧文タイトル含む)と要旨(日本語発表の場合は日本語で1,200字程度、英独語での発表の場合は各言語でca. 400 words)。

応募方法：日本カント協会事務局宛にEメール(受領通知をもって受領が成立します。)

応募〆切：2022年8月31日必着。

- ・ 修士課程(博士前期課程)在籍者にも応募資格があります。
- ・ 日本語による研究発表が困難な会員にかぎり、ドイツ語または英語で発表することを認めます。
- ・ 共同発表の場合、発表者全員が会員であることが必要です。
- ・ カント哲学に限定せず、それに関連する研究発表も募集しています。

日本カント協会第47回大会ポスター発表募集について

第47回大会でポスター発表を実施するかどうかは未定です。実施するかどうかは、6月に決定し、本協会のホームページで発表いたします。

機関誌『日本カント研究』第24号論文公募について

日本カント協会は以下の要領で、『日本カント研究』第24号に掲載される論文を公募します。奮ってご応募ください。

機関誌『日本カント研究』論文公募要領

1. 応募資格：今年度年までの会費を納入済みの日本カント協会会員で、過去に本協会大会で一般研究発表を行った者。共著論文の場合は全員が資格を満たすこと。なお、原則として連続採用は行わない。
2. テーマ：カントに関する研究およびカント関連の哲学思想。未発表論文に限る。
3. 使用言語：原則として日本語。日本語で学術論文を書くことが困難な会員にかぎり、ドイツ語または英語での論文投稿を認める。
4. 字数：20,000 字以内。6,000 words以内。題目・注・空白スペース等すべてをふくめる。なお、文字数カウントの仕方については、現在、編集委員会で検討中です。カウントの仕方は6月中までに決定し、会報等で連絡いたします。
5. 様式
 - 1) 論文は原則として Word 形式の書式による電子原稿とし、本協会事務局投稿用アドレス宛の電子メールに添付して、提出期限日時までに受信できるよう送付するものとする。提出期限までに受信できなかった場合は、事情の如何を問わず審査対象とならない。
 - 2) 電子メールの件名は、「日本カント研究投稿論文(氏名●●)」とする。
 - 3) 電子メールの本文中に、氏名・住所・生年月日・所属機関・メールアドレス・電話番号・論文題目を明記する。
 - 4) 論文にはすべて日本語（800 字以内）および欧文（100 語程度）の概要を、本文と別のファイルとして添付する。いずれの概要も、母語でない場合は、提出時までにネイティブチェックを済ませておかななくてはならない。
 - 5) 原稿の書式は、A4 版・横書きとする。注は脚注とする。
 - 6) 題目・本文・注のフォントはすべて同じもの(日本語論文と概要の場合は原則として明朝体 11 ポイント、傍点・ルビ・太字可)とし、欧字(太字・ゲシュペルト・イタリック可)は半角とする。
6. 提出期間：2022年12月1日から12月20日23時59分までに必着のこと。
7. 送信先：日本カント協会編集委員会アドレス kanteditorialdept@gmail.com
8. 投稿に当たっては「著作権規程」「研究発表に係る倫理規程」「倫理規程」「多重投稿に関する日本カント協会の見解」を確認のこと。

日本カント協会濱田賞応募について

本協会は、若手会員の研究促進と業績発表を奨励するため、2006年度より「日本カント協会濱田賞」を設けております。自薦、他薦の機会もありますので、より多くの方が奮ってご応募下さるようご案内いたします。

「論文」部門応募要領

1. 受賞資格を有するのは、2023年3月31日の時点で満35歳未満であり、かつ受賞時までに会費を納入済みの本協会会員とする。
2. 自薦および他薦によって応募する場合は、2021年4月1日から2022年3月31日までに公刊された、日本語で書かれた論文とする。
3. 『日本カント研究』第23号掲載の公募論文は自動的に選考対象となる。この場合、他の論文を自薦もしくは他薦することも可能であるが、選考対象論文は1人1本とし、複数の論文が推薦された場合は、著者の意向を尊重する。
4. 応募者は、応募用紙に著者の生年月日を明記し、応募論文1部（複写物も認める）を添えて協会事務局に提出する。応募用紙と応募論文はPDF化してメールでも事務局に提出すること。ウェブ上で公開されている場合は、そのアドレスも記すこと。
5. 応募締め切りは、2022年12月20日（当日消印有効）とする。
6. 上記による選考対象論文を濱田賞選考委員会の委任を受け、編集委員会が審査し、その選考結果にもとづき、選考委員会は受賞者を決定する。審査に関する詳細は規程・内規により別に定める。
7. 賞金 金3万円。
8. 受賞者の発表は会報にて行い、授与式は総会席上で行う。

「著書」部門応募要領

1. 受賞資格を有するのは、2023年3月31日の時点で満40歳未満であり、かつ受賞時までに会費を納入済みの本協会会員とする。
2. 選考対象は、2021年4月1日から2022年3月31日までに公刊された日本語の著書とする。
3. 応募は自薦および他薦による。選考対象著書は1人1冊とし、複数の著書が推薦された場合は、著者の意向を尊重する。
4. 応募者は、応募用紙に著者の生年月日を明記し、応募著書3部（複写物も認めるが、一部は原本）を添えて協会事務局に郵送する。他薦の場合、応募用紙のみ協会事務局に提出し、事務局が被推薦者に対し、選考対象となる意思の有無を確認する。
5. 応募締め切りは8月31日（当日消印有効）必着とする。
6. 上記による選考対象著書を濱田賞選考委員会が審査し、受賞者を決定する。審査に関する詳細は規程・内規により別に定める。
7. 賞金 金3万円。
8. 受賞者の発表は会報にて行い、授与式は総会席上で行う。

以上